

記者発表資料



国道246号 山北バイパス(向原地区)開通 ～開通後の交通状況について

お知らせします。～

山北バイパス（向原地区）が、平成24年12月20日（木）に開通しました。開通後の交通状況の変化についてお知らせします。

現道（国道246号）の交通が山北バイパスに転換

- ・山北バイパス（向原地区）の交通量は、1日当たり19,800台です。
- ・バイパス開通に伴い、現道を通行する交通量は、22,180台から3,650台と、8割以上減少しました。



位置図

※今後も、周辺道路等の現地調査を行い、開通後の交通状況をお知らせしていく予定です。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所

副所長 まつやま 松山 たかお 隆雄

電話 045-311-2981（代表）

調査課長 こさわ 小澤 ともゆき 知幸

山北バイパス(向原地区)開通に伴う交通状況の変化

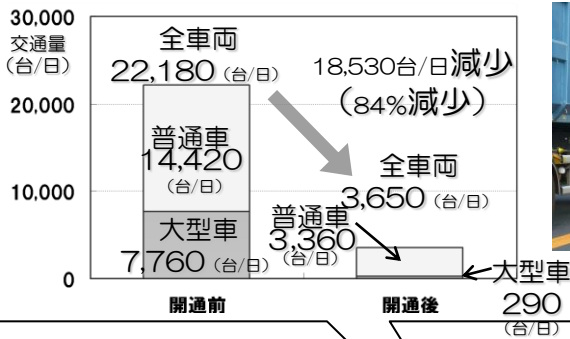
国道246号向原地区は、幅員も狭小で、道路の線形も悪い状態でした。また、歩道も未整備であり、歩行者の通行に支障をきたしていましたが、山北バイパス(向原地区)の開通に伴い、現道の交通量はバイパスに転換するとともに、現道の歩行者の安全性が向上しました。

～現道(国道246号)の交通が山北バイパス(向原地区)に転換～

- 山北バイパス(向原地区)の交通量は、19,800台/日です。一方で、現道(国道246号)の交通量は、22,180台/日から3,650台/日と、開通前に比べ、8割以上減少しています。
- 特に、大型車のほとんどは、バイパスに転換し、現道の歩行者の安全性が向上しました。

■現道(国道246号)と山北バイパス(向原地区)の交通量

■現道(国道246号)の交通量



写真①：開通前の現道の様子



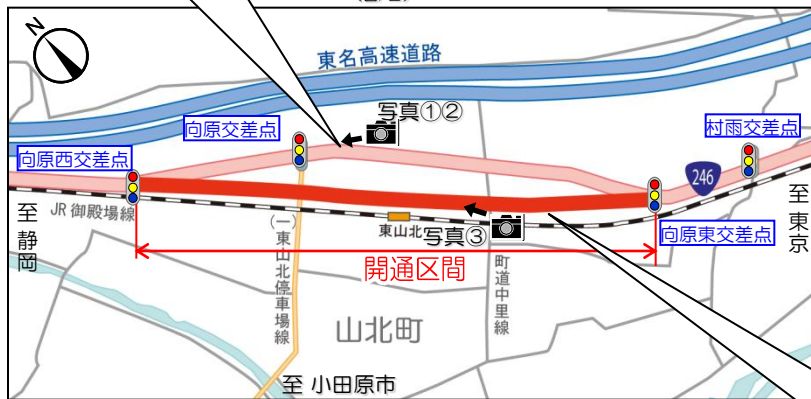
平成24年6月29日7時撮影

写真②：開通後の現道の様子

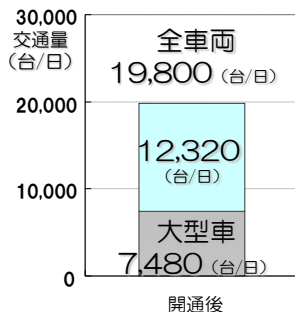


平成24年12月21日7時撮影

位置図



■山北バイパス(向原地区)の交通量



写真③：開通後のバイパスの様子



平成24年12月21日9時撮影

- 調査日・開通前：平成24年6月28日(木)7時～29日(金)7時(24時間)
- 開通後：平成24年12月20日(木)16時～21日(金)16時(24時間)

※交通量は10台単位で四捨五入した値

山北バイパス(向原地区) 事業概要

〇概要

国道246号は、東京都千代田区から神奈川県内の内陸部を横断し、静岡県沼津市に至る延長約120kmの主要幹線道路です。

山北バイパス(向原地区)は、狭小幅員区間及び線形不良区間の解消を目的とした延長1.0kmのバイパス事業です。

平面図



位置図

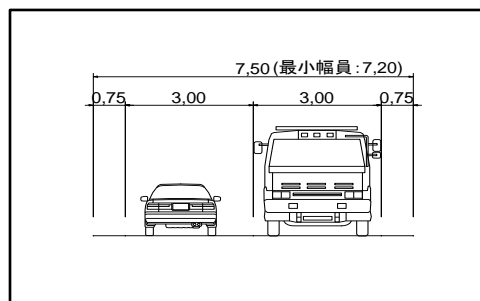


凡例

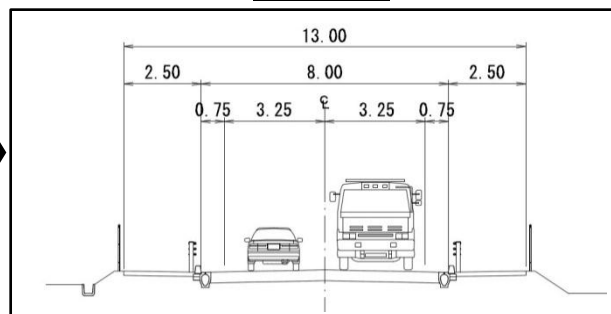
- 高速道路
- 国道
- 一般県道
- 町道
- JR
- 市町界

標準横断図

現道



バイパス



(単位: m)

バイパス写真
(11月27日現在)

